



旬の話題をお届け!

とれたて いとれぽ

# 名城

6月9日(日)、ユッカヌヒー(旧暦5月4日)に北名城ビーチで名城ハーリーが行われました。

8時30分から御願ハーリーが始まり、後(クシ)ンティー、中(ナカ)ンティー、前(メー)ンティーの組に分かれ、浜から沖にある旗を折り返して浜に戻り、一番エークが木にぶら下げられた酒瓶を取るまでが勝負となっています。

今年は御願ハーリーを前ンティーが制し、見事、昨年の雪辱を晴らしました。



## 子どもたちに救急応急の基礎知識を 喜屋武小学校で児童向け普通救命講習

6月13日(木)、喜屋武小学校体育館で同校5年生、6年生を対象に普通救命講習が行われました。講習は、4月3日(水)に発生した台湾東部沖地震を教訓に、災害発生時において児童が避難所で基礎的な救急対応を行うことができるよう実施され、児童らは糸満市消防本部の職員から心肺蘇生や人工呼吸の方法、AEDの操作方法を教わりました。また、講習最後はグループに分かれ一連の流れを実践し、児童らは交代で心肺蘇生を行い、災害時に命をつなげられるように真剣に取り組んでいる様子が見られました。講習を受けた6年生の山城舞夏さんは「人を助けるには、たくさんの人の手が必要だと感じました。これ

からAEDを使える人がたくさん増えたらいいなと思いました」と話し、5年生の小堀端末乙さんは「倒れている人がいたら、近くの大人の人を呼びたいです」とそれぞれの感想を話しました。



## 世界各国のデフバレーボール選手が沖縄に! デフバレーボール世界選手権2024沖縄 豊見城大会開会式&市内小学生と交流

聴覚障がい者がプレーするデフバレーボール世界選手権2024沖縄豊見城大会の開会式が、6月20日(木)、シャボン玉石けん くくる糸満で行われました。式典で、関係者らのあいさつを終えた後は、ろう団体による太鼓演奏などが披露され、各国選手は手を上げひらひら動かし、拍手を意味する手話で盛り上がりを伝えました。

また、6月24日(月)に西崎小学校3年生を対象に、大会に出場するインド代表の男子選手と交流会が行われました。交流会では手話の事前学習が行われ、児童らは選手へ手話で「トスとレシーブとアタックはどれが難しいですか」など楽しく質問をしました。その後、体育館で選手の練習を見学した児童らは、歓声が選手に伝わるように手話の拍手をしました。交流会を終え、仲吉礼貴さんは「手話で質問するのは難しかったけど頑張って覚えられました。耳は聞こえないけど、こんなに迫力があるバレーができるのはすごいと思いました」と感想を話しました。

